

令和7年度外部評価会 集計表(農業者)

所属名: 鹿児島地域振興局農政普及課日置市駐在

課題名②	国内縮小でも成長加速!有機・輸出で切り開く「稼ぐ茶生産」	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	5			・茶工場の技術差	
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	1			
活動体制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3	2		・輸出を拡大するのは大切。 ・有機の一番は病害虫対策	
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	4	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	4	1			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	4	1		・地域のレベルが上がったと思います。	
活動の 波及性と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	1	1		
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	3			

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 鹿児島地域振興局農政普及課日置市駐在

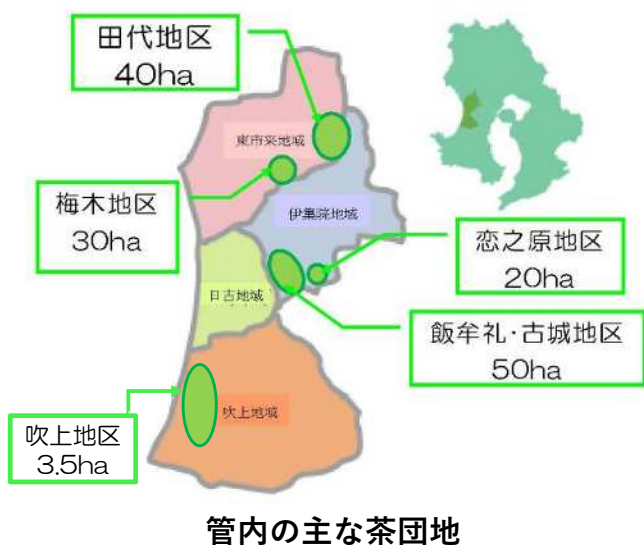
課題名②	国内縮小でも成長加速!有機・輸出で切り開く「稼ぐ茶生産」	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	5			・茶の全体的な流れを見据えていく必要がある。	・管内では、全体的な流れが有機や輸出に向かっており、そのような流れに対応していく。
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	1			
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	1	4		・JA・市との協力・連携は最重要 ・有機栽培への転換については、隣接するほ場の作物等を考慮して転換の可否を判断する必要がある。 ・ドリフト被害は避けられないと思うので、農業者の賠償責任保険等も推進する必要がある。	・今後も連携しながら活動を展開する。 ・ドリフトも考慮した農地活用面からの調整の仕組みづくりは将来に向けた課題として認識している。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3	2			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	2			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	1	4		・生産者が前向きな今だからこそ、理解が進むと考える。	
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	4	1			
活動の 波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	2	3		・他作物との調整 ・団地化の推進	・ドリフトも考慮した農地活用面からの調整の仕組みづくりは将来に向けた課題として認識している。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	1	4			

国内縮小でも成長加速！ 有機・輸出で切り拓く「稼ぐ茶生産」

鹿児島地域振興局農政普及課日置市駐在
秋葉 咲希

1

日置市茶業の概況

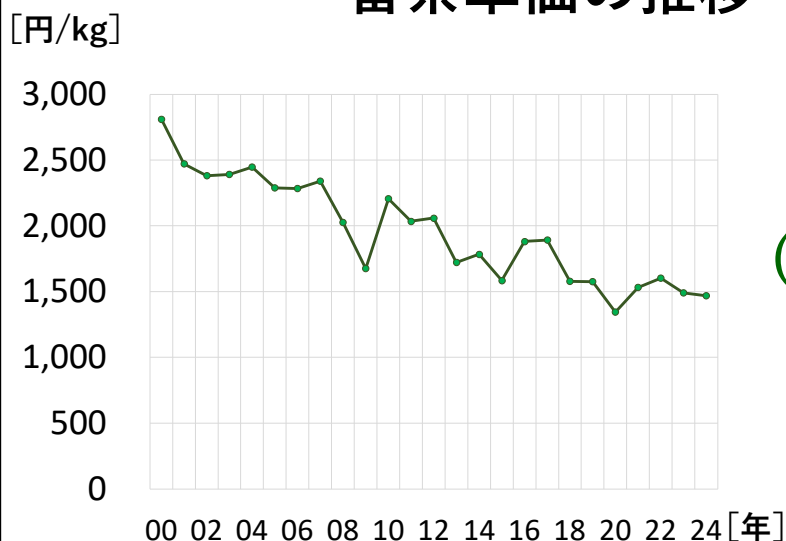


- ・ 荒茶工場：15工場
- ・ 茶園面積：220ha
- ・ 荒茶生産量：734t



2

一番茶単価の推移（県内）



一番茶単価低迷
(2000年→2024年)

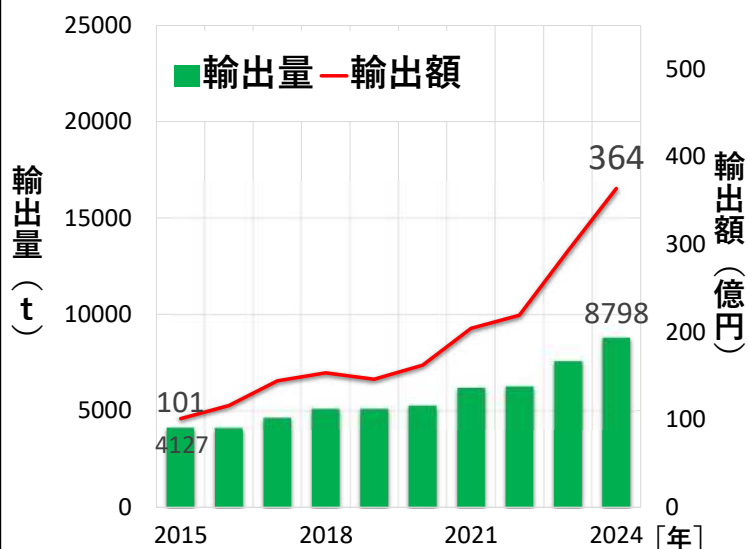
47%低下

鹿児島県茶市場の一番茶単価の推移

*出典：鹿児島県茶市場

3

輸出量・輸出額の推移（国内）



輸出量
(2015年→2024年)

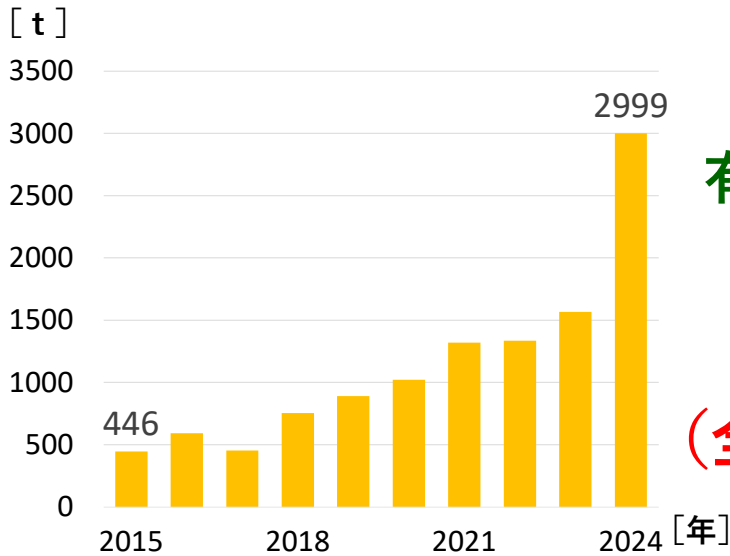
2.1倍

海外輸出量と輸出額の推移

*出典：農林水産省「茶をめぐる情勢R7.12」

4

有機栽培茶の輸出量の推移（国内）



有機栽培茶の輸出量
(2015年→2024年)

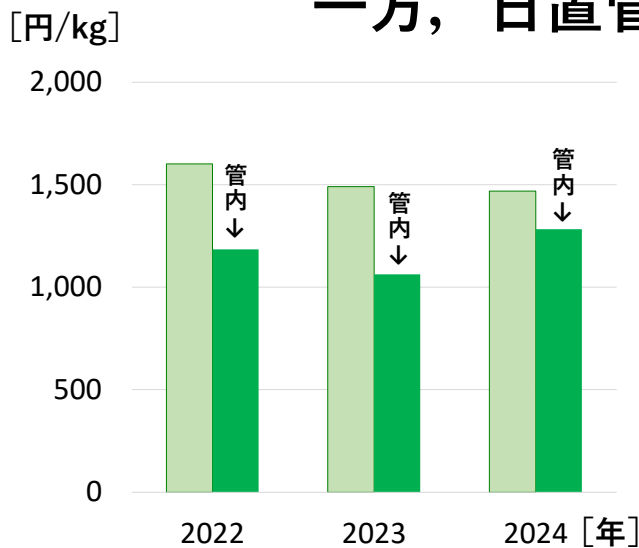
6.7倍
(全輸出量の約35%)

有機栽培茶の輸出量の推移

*出典：農林水産省「茶をめぐる情勢R7.12」

5

一方，日置管内は・・・



茶市場 管内

県茶市場全体と管内の一番茶平均単価

*出典：県茶市場，共販実績

県内でも
中間～遅場産地で
一番茶単価が低い

所得向上 ↓ のために

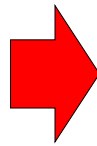
輸出に向けた
(付加価値のある)
茶の生産を目指す！！

6

輸出に対する現状と目標

現状

- 🌱 荒茶単価の低迷
- 🌱 輸出向け栽培茶・有機栽培茶ニーズの高まり
- 🌱 全茶工場が第三者認証（ASIAGAP）を取得済
- 🌱 「**台湾**輸出向け栽培暦」が普及している



目標

1. 輸出に向けた有機栽培茶（高単価）の生産拡大
2. 海外輸出向け栽培茶の生産及び販路の拡大 (**台湾 + 米国**)

7

目標に対する課題と活動内容

1. 輸出に向けた有機栽培茶の生産拡大

課題

- ① 有機JAS認証取得が必要
- ② 網もち病が多発
- ③ 農薬ドリフトのリスク



活動内容

- ① 有機JAS認証の取得支援
- ② 網もち病被害対策
- ③ 残留農薬調査
防除履歴マップの作成

8

目標に対する課題と活動内容

2. 海外輸出向け栽培茶の生産及び販路の拡大 (台湾 + 米国)

課題

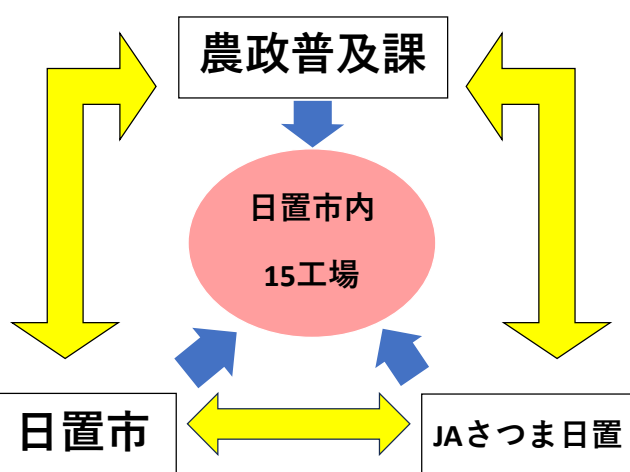
- ①管内に適した米国輸出向け栽培体系が未確立
- ②茶市場に出荷するには、輸出可能であることの証明（認証）が必要

活動内容

- ① **台湾 + 米国** 輸出向け栽培暦作成に向けた防除実証（鹿児島地区と合同）
- ② 「**かごしま茶輸出サプライチェーン**」への認証（登録）支援

9

支援体制と役割分担



【支援の役割分担】

- JAさつま日置：GAP認証支援・相対窓口・部会活動支援

- 日置市：補助金支援・振興会活動支援

●農政普及課日置市駐在：

- ・有機栽培管理指導
- ・有機JAS認証支援
- ・台湾 + 米国輸出向け栽培暦作成に向けた実証活動

【民間等との連携】

- 認証：日本GAP協会，有機農業協会
- 出荷取引：茶市場，茶商

10

活動内容

1.輸出に向けた有機栽培茶の生産拡大

- ・ 有機JAS認証の取得支援
- ・ 網もち病被害対策
- ・ 残留農薬調査
- ・ 防除履歴マップの作成

2.海外輸出向け栽培茶の生産及び販路の拡大（台湾＋米国）

- ・ 台湾＋米国輸出向け栽培暦作成に向けた防除実証
- ・ 「かごしま茶輸出サプライチェーン」への認証（登録）支援

11

活動内容

1.輸出に向けた有機栽培茶の生産拡大

- ・ 有機JAS認証の取得支援
- ・ 網もち病被害対策
- ・ 残留農薬調査
- ・ 防除履歴マップの作成

2.海外輸出向け栽培茶の生産及び販路の拡大（台湾＋米国）

- ・ 台湾＋米国輸出向け栽培暦作成に向けた防除実証
- ・ 「かごしま茶輸出サプライチェーン」への認証（登録）支援

12

有機JAS認証の取得支援



現地審査の立ち会い

- ・ ほ場・使用資材の選定
- ・ 書類作成支援
- ・ 現地審査立ち合いで問題点を共有



**15工場中
11工場**で認証

13

網もち病被害対策

網もち病とは？



網もち病の多発茶園

- ・ 菌病（糸状菌）
- ・ 二番茶葉の病葉が伝染源
- ・ 8～9月の秋芽生育期（多湿条件）に発生
- ・ 翌年の一番茶減収につながる
- ・ 化学農薬が使用できないことから多発

14

網もち病被害対策

網もち病防除の実証内容
(更新技術と有機で認められている銅剤との組み合わせ)

年	実証内容	被害葉数 (枚/m ²)
2021 年	深刈り + 無処理	699
	深刈り + 銅剤3回	10
2022 年	<u>浅刈り +</u> <u>銅剤1回</u>	<u>0</u>

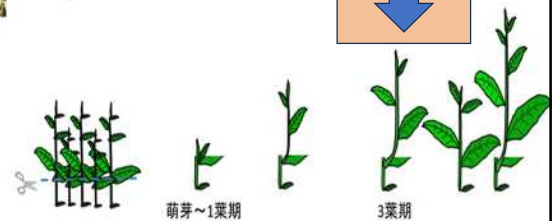
提案防除体系: 二番茶後浅刈り + 銅剤

二番茶後
浅刈り

三番茶摘採
(7月中)

秋芽生育期

銅剤
秋芽防除
(摘採35日後)



網もち病防除体系の確立

15

網もち病被害対策

網もち病防除の実証成果



2020年



2022年

16

残留農薬調査

有機転換中ほ場の残留農薬調査

[illegible]

- ・有機転換期間中の茶園の残留農薬調査
- ・一番茶～秋冬番茶サンプル回収，乾燥
- ・ドリフト対策として情報提供

残留農薬調査結果

お知らせ旗の設置

17

防除履歴マップの作成

茶園防除状況の確認・情報共有



ほ場管理システムを活用したマップ

農家が隣接茶園の防除履歴を把握できていない

隣接茶園の防除体系を 視覚化



今後の防除体系の検討 農家同士での情報共有が容易

18

活動内容

1.輸出に向けた有機栽培茶の生産拡大

- ・有機JAS認証の取得支援
- ・網もち病被害対策
- ・残留農薬調査
- ・防除履歴マップの作成

2.海外輸出向け栽培茶の生産及び販路の拡大（台湾＋米国）

- ・台湾＋米国輸出向け栽培暦作成に向けた防除実証
- ・「かごしま茶輸出サプライチェーン」への認証（登録）支援

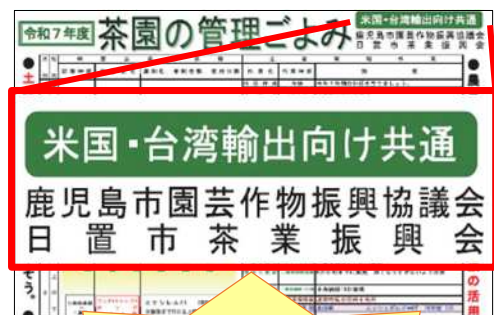
19

台湾＋米国輸出向け栽培暦作成に向けた防除実証

年	実証内容
2024年	両国の農薬基準に対応した夏・秋芽防除薬剤の検討
2025年	変更薬剤の効果検証



台湾＋米国輸出向け農薬実証ほの設置



県内初！

20

かごしま茶輸出サプライチェーン認証支援

「米国・台湾輸出向け」として出荷・取引（茶市場）できるよう申請支援



農家への栽培管理指導

- ・書類作成支援
- ・関係機関と連携，ドリフト危険箇所等を現地調査
- ・調査結果を情報提供

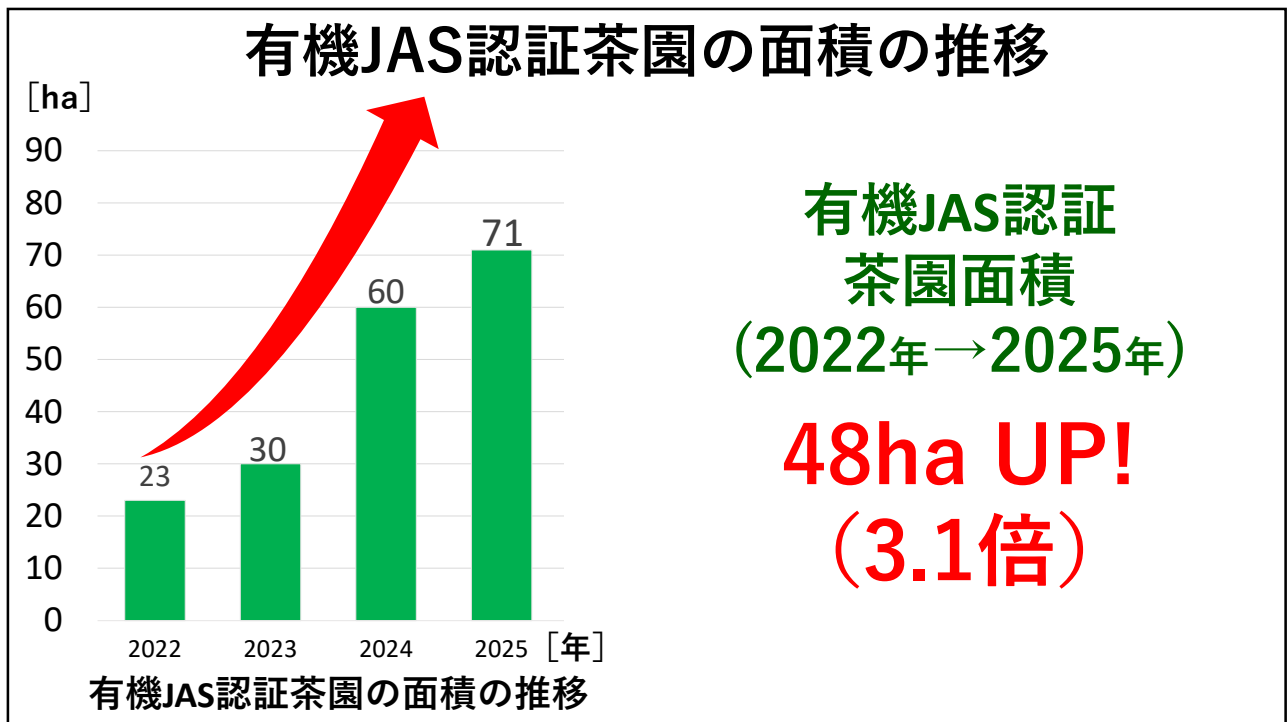


15工場中
12工場が認証

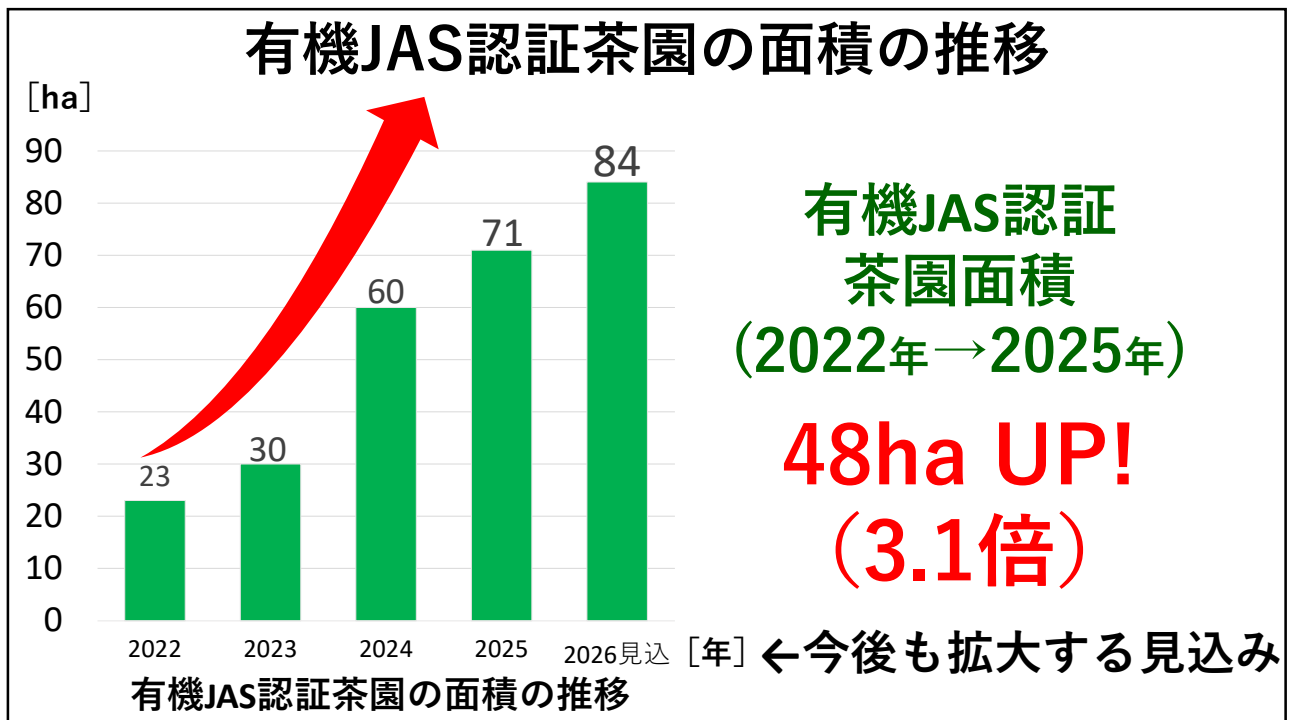
21

取組の成果

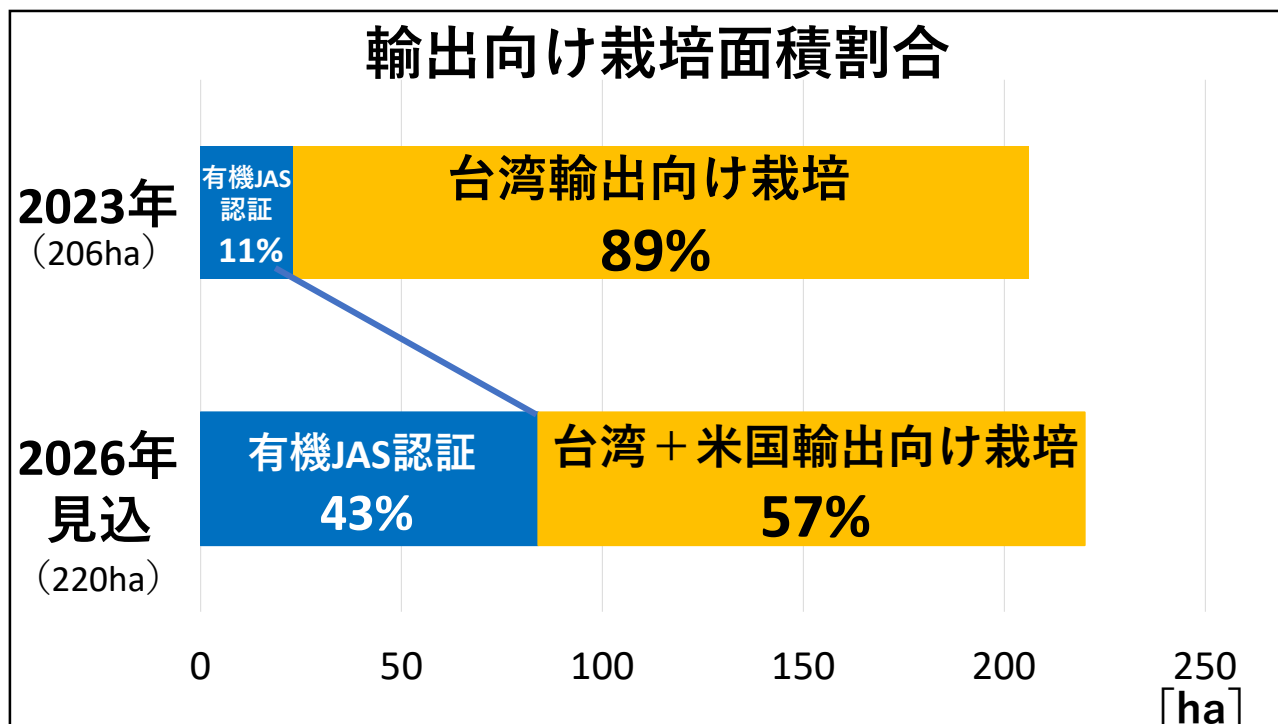
22



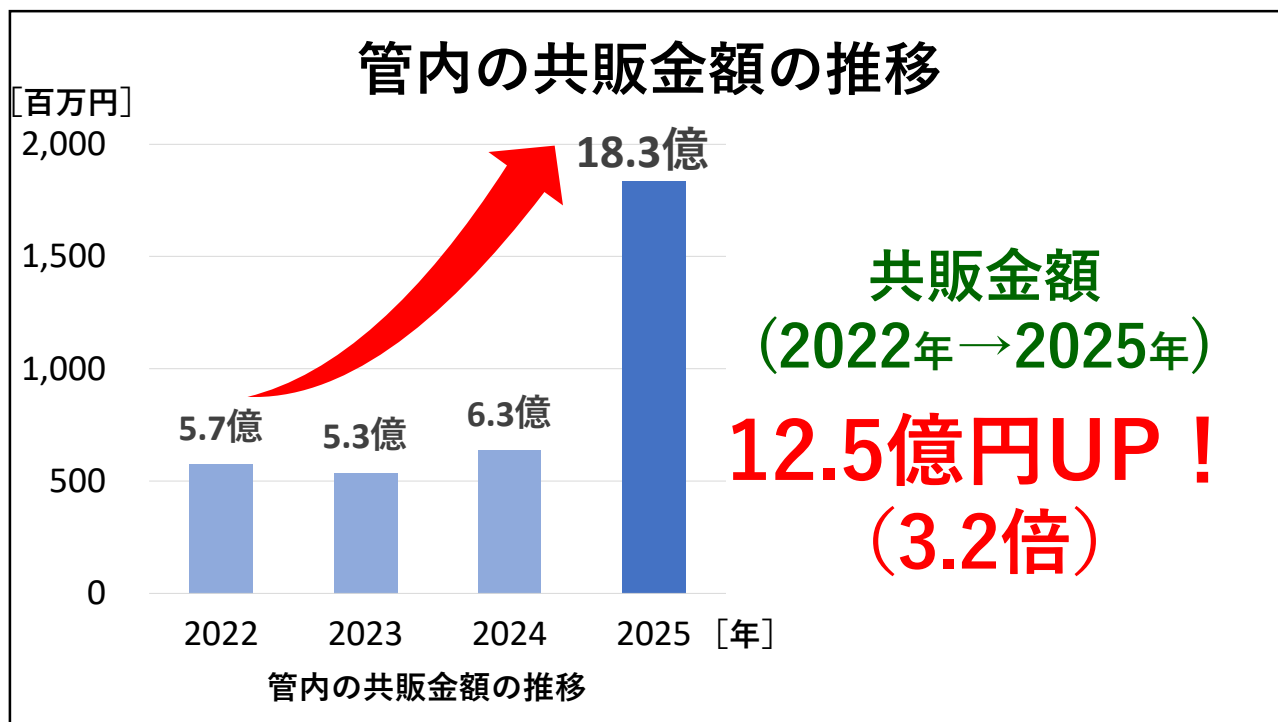
23



24

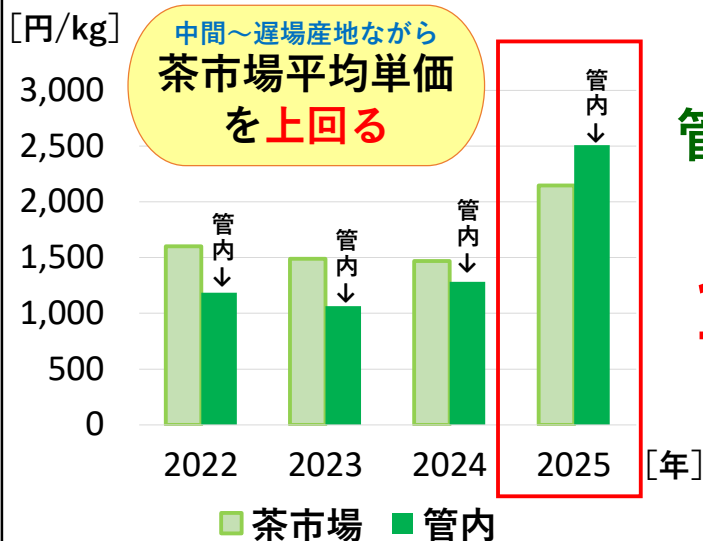


25



26

一番茶平均単価



管内の一番茶平均単価
(2022年→2025年)

1,323円/kg UP !
(2.1倍)

所得向上
に繋がった！

県茶市場全体と管内の一番茶平均単価

27

地域農業振興への貢献



令和7年度
全国優良経営体表彰
付加価値創造部門

**農林水産大臣賞
受賞！**

28

地域農業振興への貢献



令和7年度
鹿児島県
茶経営改善コンクール

**2年連続産地賞
受賞！**

29

残された課題



除草機実演の様子

- ・有機栽培における雑草防除及び省力化
- ・輸出に適した品種の栽培管理技術の向上
- ・有機JAS認証工場の拡大
- ・高単価茶種の生産技術向上（てん茶等）

30

頑張ろう ひおき茶！！
伝統の継承と新たな可能性への挑戦！！
～付加価値を付けて海外輸出拡大～



31

ご清聴ありがとう
ございました



32